



明園

あか
明るい子どもを育てる
なか
仲のよい子どもを育てる
たくましい子どもを育てる



「あなた」の 明園小

検索

☎(011)742-6521 ㉚(011)742-9312

「令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から」

日頃より本校の教育活動に対しまして、温かい御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、小学校6年生を対象として文部科学省が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」における本校の概要についてお知らせいたします。

この調査は、国語・算数・理科の学力、そして生活習慣や学習状況に関するものです。限られた内容の調査ですので、子どもたちの学力全体の状況を捉えている訳ではありませんが、この結果を本校の教育活動に生かしていきます。

【国語】

本校の概要

【領域】

[知識及び技能等]の「情報の扱い方に関する事項」は、全国平均を下回っている。

[知識及び技能等]の「我が国の言語文化に関する事項」は、全国平均を下回っている。

[思考力、判断力、表現力等]の「話すこと・聞くこと」は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

[思考力、判断力、表現力等]の「書くこと」は、全国平均を下回っている。

[思考力、判断力、表現力等]の「読むこと」は、全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

◆情報と情報の関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

◆時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。

◆自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えること。

◆図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

◆事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

改善の方向

◆複雑な事柄を分解して捉え、多様な内容を要素ごとに分類する際に、短い語句で端的に表し、図で表しながら考えをまとめる学習活動の充実。

◆古典や昔の言葉に触れる読書活動や言葉の変化を観察・比較する学習活動の充実。

◆聞き取る目的を明確にした上で、話し手の意図や表現方法を捉える対話的な学習活動の充実。

◆読者の視点を意識し、理由や具体例を示しながら、図や表と文章を適切に組み合わせる学習活動の充実。

◆文章全体を構造的にとらえ、事実・意見・感想を区別して要旨をまとめる学習活動の充実。

【算数】

本校の概要

【領域】

「数と計算」は、全国平均を下回っている。

「図形」は、全国平均を下回っている。

「測定」は、全国平均を下回っている。

「変化と関係」は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「データの活用」は、全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

◆異分母の分数の加法の計算をすること。

◆平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図すること。

◆はかりの目盛りを読むこと。

◆伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見出すこと。

◆簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶこと。

改善の方向

◆宿題プリントやドリルパークを用いた、既習の学習の学び直す学習活動の充実。

◆複数の長さから底辺や高さの位置関係に着目し、図形を構成する要素に必要な辺を選び出す学習活動の充実。

◆実物に触れ、身の回りの物を図る体験学習や目盛りの最小単位を意識させる日常生活に即した学習活動の充実。

◆対応関係を表やグラフで整理し、2つの数量の関係性や変化のきまりを見付ける学習活動の充実。

◆表の縦と横の関係性を理解したり、具体的な数字や言葉を読み取り、複数の条件を組み合わせたりする学活動の充実。



【理科】 ※理科の学力調査は3年ごとに実施しています。次回は令和10年度を予定しています

本校の概要

【領域】

「エネルギー」を柱とする領域は、全国平均を下回っている。

「粒子」を柱とする領域は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「生命」を柱とする領域は、全国平均を下回っている。

「地球」を柱とする領域は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

◆電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変わること。

◆水は温まると体積が増えることを根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。

◆ヘチマの花のつくりや受粉について知識が身に付いていること。

◆水のしみ込み方の違いについて、結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して、表現すること。

改善の方向

◆実感を伴う実験活動の充実を図り、実験結果を表やグラフに整理し、ほかの児童と比較・検討する時間を設け、結果の説明や発表をする学習活動の充実。

◆実験を用い、理科の知識が抽象的なものではなく、目の前で起こる具体的な現象であることを実感させ、問題と原理を直接結び付けるような話し合いや調査活動などの学習活動の充実。

◆教科書や図鑑の知識を暗記するだけでなく、実際に植物を観察し、生きた知識として定着させたり、他の植物と比較して、植物の多様性と共通点を学び理解を深めたりする学習活動の充実。

◆複数の条件を関連付けて考える活動を増やし、予想や考察を言葉で表現する機会を増やし、科学的な思考力と表現力を総合的に高める学習活動の充実。



【学校や家庭での学習や生活の様子】～児童質問紙より～

- 「インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べる等)ことができる」ICT 機器を使って「学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができる」「分からないことがあった時に、すぐ調べることができる」「友達と協力しながら学習を進めることができる」と回答した児童の割合が、全国の割合より高かったです。ICT機器が学習のツールとして定着し、楽しみながら学習を進めていることがうかがえます。今後も一人一台端末を効果的・継続的に活用することで、個別最適な学びや協働的な学びの充実につなげていきます。
- 「自分には、よいところがある」「普段の生活で幸せな気持ちになることがある」「将来の夢や目標をもっている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」が、全国の割合より低かったです。自己肯定感を高めるとともに、自分の将来を具体的に関連させて考える活動や出前授業を行うなど、キャリア教育を充実させることで、広い視野から社会や職業を捉えるとともに、社会的・職業的自立に向けて生涯にわたるキャリアを形成するために必要な能力や態度、自分の夢や目標に向かって粘り強く努力する姿勢を育むよう取り組んでいきます。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」「授業や学校生活では友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら問題の解決に取り組んでいる」と回答した児童の割合が全国の割合より高かった一方、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができる」と回答した割合が低かったです。授業で習得した力を、友達との関わりや協力を通して次時や他教科の学びにつなげていけるよう指導していきます。

今回の結果を参考にしながら、学校では引き続き学力向上に取り組んでまいります。御家庭でも、学習の基本となる生活習慣の形成に、より一層の御理解と御協力をお願いいたします。